

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年10月27日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年10月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【原子炉注水設備 処理水バッファタンク用水位計の指示不良について】 当直員が原子炉注水設備の処理水バッファタンク用水位計の指示不良を確認。 現場を確認したところ、水位計の不良と判断した。 タンクの水位監視は別の水位計で監視可能であり問題なし。 今後、当該水位計の交換を予定。	GⅢ	10月21日
2	【協力企業棟の非常用発電機の屋外タンク貯蔵所用防油堤内の水の滞留について】 当社社員が協力企業棟の非常用発電機の屋外タンク貯蔵所用防油堤内に水が滞留していることを確認。 この状況で油が漏えいした場合、防油堤の機能要求を満足しないと判断。 防油堤内およびタンク周辺の油漏えいなしを確認したうえで、防油堤内の水は排出済み。 今後、再発防止対策を検討。	GⅢ	10月22日
3	【No.3純水タンク東側の消火系配管の保温材脱落について】 当直員がNo.3純水タンク東側の消火系配管の保温材の一部が、脱落していることを確認。 原因は経年劣化によるものと推定。 今後、保温材脱落箇所を修理予定。	GⅢ	10月25日
4	【既設多核種除去設備(C)のステージ1循環系統の漏えいについて】 当直員が既設多核種除去設備(C)のステージ1循環系統に漏えい跡を確認。 鉛遮へいを取り外し、手動弁配管からの滲み程度の漏えいであることを確認。 漏えい部は袋養生を実施済み。 当該設備は計画停止中であり、他系統における運転が維持されていることから、汚染水処理に影響なし。 当該箇所を金属充填剤により修理予定。 今後、原因調査を実施予定。	GⅢ	10月25日